

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	ひぬまきっず		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先のニーズに対応したコンサルテーションを実施している。	・直接訪問とコンサルテーションのバランスは訪問先の実情に合わせて調整し柔軟に対応を行っている。	・現在の状況を維持していく。
2	・訪問先の支援の意向等や利用時の課題、現状などを児童発達支援事業所にスムーズに情報提供を行っている。	・利用児の課題や支援内容を訪問先と共有できるように、支援終了後にカンファレンスの時間を設けている。 訪問終了後、速やかに保護者に連絡をし、課題や現状の情報共有を行っている。	・適切なアドバイスが訪問先や保護者へ行えるよう、専門分野でのスキルアップを図れるような体制を整えて行けるよう努めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援の日程調整が難しい。	・訪問日の設定と訪問先施設の予定との調整が難しいことがある。	・訪問先の負担にならないように、調整を図る。
2	・情報発信の手段、回数が少ない。	・現在支援数が多くないため、ホームページのみと情報発信の方法が固定的だった。	・マチコミなどアプリを通しての情報発信を増やし、活動例を周知・発信して支援のイメージが理解しやすいように努めていく。
3			